

平成 28 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ
語学・大学留学コース 8月レポート
「すべてが新しい経験」

皆様はじめまして。埼玉県・オハイオ州スカラシップ事業語学・大学留学コース平成 28 年度派遣奨学生として、フィンドレー大学に留学しています今枝沙織と申します。アメリカの大学で一年間学ぶという貴重な機会を頂いたことに心から感謝いたします。語学やアメリカの文化を学ぶだけでなく、現地の方に日本や埼玉県の事を伝えられるよう頑張ります。このレポートでは、大学生活での気づき、学んだことを皆様にお伝えしたいと思います。今回はフィンドレー大学について、8月の活動を報告いたします。

寮生活

アメリカの大学の多くはキャンパス内に寮があります。フィンドレー大学も5つの寮を持っており、全校生徒のうち約60%が寮に住んでいます。

私も寮に住んでおり、二人部屋でアメリカ人のルームメイトと共同生活を送っています。トイレ・シャワーは他の寮生と共同です。キッチンがないため、食事はヘンダーソンという食堂で取っています。食堂は半年ごとに、料金を前払いするシステムで、1週間の利用回数が10回、14回、19回から選ぶことができます。ビュッフェスタイルのため、つい食べ過ぎてしまい、体重が増える新生生が多いので気を付けた方がいいと、ルームメイトが教えてくれました。



私が住むラビットという寮の外観です。新生生を歓迎する旗が飾られています。

ジンクス

フィンドレー大学にはいくつかの言い伝え（ジンクス）があります。この写真はその一つ。この赤い丸の上を通過すると、単位を落とす、テストで赤点を取るといふものです。信じる人は意外と多く、多くの人が避けながら道を歩く姿を目にします。



キャンパス内の赤い丸

フィンドレーグッズ

アメリカの学生は、自分の学校名が入ったTシャツを必ずと言っていいほど1枚は持っています。学校でのイベントの際には無料でTシャツが配布されるほか、キャンパス内では大学の名前が入った様々なグッズを購入することができます。

学生たちが、それを日常的に使用することに驚きました。日本では、自分の大学名が入った洋服を着る人はめったにいませんが、こちらでは当たり前ようです。



購買の様子

シダーポイント

学校の行事で、シダーポイントという遊園地に行きました。五大湖の1つである、エリー湖に面している、絶叫マシーンを中心とした遊園地です。人気の乗り物はウォーターライドという、川を流れる乗り物で、全身がずぶ濡れになります。中には水着を着て乗車する人もいるほど、大量の水を浴びます。

驚いたことは、ジェットコースターの入り口に、シートのモデルが設置されていることです。体が大きな人たちが、シートに座れるか列に並ぶ前に、確認していました。遊園地でも国の違いがでるのだと感じました。



シダーポイントの観覧車からの様子